

13
(水)

満ちあふれる献げ物

出エジプト記三六章

聖所のすべての仕事をしてきた知恵のある人々は皆、……来て、モーセに言った。「民が幾度も携えて来るので、主が命じられた仕事に必要な量よりはるかに多くなっています。」(4、5)

幕屋を建設するにあたり、民が自発的に献げ物をするようにと主は命じられました。それに応えて、民は「朝ごとに」(3) 献げ物を持って来たため、工事の携わる人々が今日の聖句のように嬉しい悲鳴を上げたというのです。十分過ぎて困るほどでした。ついに、「もう何もしなくてよい」(6) とお触れを出すほどでした。モーセが繰り返し返し献げ物をするよう勧めたからではありません。神に対する感謝の思いが満ち溢れて、民は有り余るほどに喜んで献げたのです。このように、神への献げ物は神に対する感謝の度合いに比例します。主の恵みに溢れるとき、自発の献げ物も溢れ出すのです。私たちの教会も、満ち溢れる主の恵みに応答して、溢れるばかりに献げていく群れでありたいと願います。私たちのために御子をさえ惜しまずに与えてくださったお方に！